

2021年 4月

ひと・縁・風 明日につなぐ

NO.38

tomorrow



高藏寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会  
代表：寺島靖夫  
事務局 春日井市押沢台 6-11-13  
TEL/FAX 0568-91-8364  
<https://www.hanamomonokai.com/>

## 4月3日ハナモモ苗の移植をしました

三菱 UFJ 銀行春日井支店の方々も一緒に!

今年も育樹祭は断念。でも昨夏発芽した時から育ててきた小さな苗が37本、50cmを超える背丈になっています。そこで過去4年間で植樹した約300本のうち、残念ながら枯死した木と交換して植えることにしました。



前号で述べましたが、昨年三菱UFJ銀行さんから2020年度の事業として、当会の活動を体験したいとの連絡を頂いていました。緊急事態宣言のため実現には至らないまま新年度になってしましましたが、植樹の予定をお知らせすると「仕事の一環ではなくなったけれど春日井支店から男女6人で参加します」との嬉しいお返事。張り切って事前準備にとりかかりました。

4月3日（土）は穏やかな日差しで風のない絶好のコンディション。27名が集合し、若いUFJの方々もおしゃれなスニーカーで急斜面に足を滑らせながら、慎重に苗の植え込みに挑戦。「想像以上に大変！」とビックリされた様子でした。作業後は満開のハナモモを眺めながらの茶話会。マスクを外したりつけたりと気を配りつつも、お菓子とお茶で楽しいひと時を過ごしました。UFJの方からは「他の人も誘ってまた活動に参加したいです」と。次回のイベント時もお声をかけると約束しました。



今年の苗は全て豊山町の喫茶店「マルシャン」さんの庭に咲く三色ハナモモの種から芽吹いた実生の苗です。斜面は水分も栄養分も乏しくて心配ですが、無事育ってくれれば来年には可愛らしい花を咲かせてくれるでしょう。翌4日は恵みの（？）大雨。地面をたっぷり潤してほしいと強く願いました。



### 高森山公園で 満開のツツジの見学会開催

高森台県有地に隣接する高森山公園は、常緑樹が生い茂る暗い森でした。この森に手を入れて四季折々自然を楽しめる場所にしようと2017年に結成された「魅力ある高森山公園をつくる会」（略称・つくる会）では、毎月1回シダや小木の伐採を行っています。今では日差しが地面に届くようになり、見違えるような散歩道が出来つつあります。

3月27日、つくる会主催で「高森山でツツジを見よう会」が開催されました。自然に詳しい会員がガイド役となり、自然界の仕組みをゲームも交えて説明してくれる人気の催しです。コバノミツバツツジの群生は目を奪われる美しさ。好天にも恵まれ、138名の参加者が身近な自然を堪能しました。

つくる会とハナモモの会は高森台で緑化活動に取り組む共通点があり、また多くの会員が重複しています。どちらも活動参加者の増加を模索していることもあり、今後は連携を強めていきたいと考えています。

### ◆ハナモモの会 通常総会のお知らせ◆

日時：2021年5月16日（日）  
13:30～15:30

場所：東部市民センター  
第3集会室

※終了後2021年度の年会費  
(個人：2000円)を徴収させていただきます。

※最近、会員は減少気味です。  
是非お知り合いの方を会員としてお誘い下さい。  
仲間を増やして活動の幅を広げたいと思います。

## 全国情報誌「まち・むら 153 号」に当会の活動が掲載!!



「公益財団法人あしたの日本を創る協会」は毎年「あしたのまち・くらしづくり活動賞」を設け全国公募しています。令和 2 年度、私達も応募しましたが、昨年 12 月に審査結果の発表があり、残念ながら選外でした。

しかしその後本部から協会が発行している全国の地方自治体や町内会に発送されている情報誌「まち・むら」に本会の活動を掲載させてほしい旨連絡があり、先日最新版 153 号が届けられました。

153 号の特集ページ「地域のチカラ」には私たちの「ハナモモの会」を含めて北海道小樽市から福岡県大牟田市まで全国 7 地域の活動団体が紹介されています。一読して驚くのはその活動フィールドの広さです。

小樽市の「日本スポーツ雪かき連盟」は高齢化による除雪問題を「雪かき選手権」というイベントに変身させて観光振興と地域住民との交流によるコミュニティの活性化を図ろうとしています。また新潟県長岡市の「長岡クリーンクラブ」はゴミを拾い続けることでまちの回収ゴミの量が減少してきたといいます。「きれいな場所に住むのではなく、きれいにして住む」担当者の言葉です。ゴミ拾い総延長が平成 30 年までの 3 年間で実に 76.9 キロメートルに達したことです。

この二つの活動報告はどちらも取り組む相手が「雪」、「ゴミ」というとらえどころのない、それでいて脅威的な量で立ち向かってくる厄介者です。

その点、私たちの「ハナモモの会」はハナモモを育てることを通して地域を元気にしようという、かなり明確な目標があり、ハナモモを育てることで楽しみも生まれます。しかし、当会としても活動を持続していくにはかなりの困難さを伴っています。そのように考えると、前述した 2 団体の苦労はいかばかりか、関係者の創意工夫と努力には敬服せざるを得ません。

「あしたの日本を創る会」の活動賞はもらえませんでしたが、情報誌に掲載していただいたことにより、全国では数えきれないくらいの住民の自発的な組織が、わが町をよくしようと活動していることがわかり、とても勉強になり、励まされました。(寺島)



掲載記事タイトル

「斜面の活用～知恵と汗の物語～」

### 心は高蔵寺ニュータウンに!



名古屋市在住 藤城栄一

ハナモモが高森台を彩る季節を迎きました。残念ながら育樹祭は今年も見送りになりましたが、来年の開催を期待したいものです。

私事で恐縮ですが、よんどころ無い事情から、一昨年 9 月、33 年間住み慣れた高蔵寺 NT を離れ、名古屋市中区のマンションに転居しました。覚悟はしていたものの、コンクリートとアスファルトに囲まれた、近隣の繋がりの希薄な環境は、やはり味気ないものでした。今でも、高蔵寺 NT 在住当時を懐かしく思い出します。寺島代表を中心に、県有地活用の検討を開始し、様々な議論の末、「ハナモモ桃源郷プロジェクト」に落ち着いたこと、その後、プロジェクトチームの皆さんをはじめ多くのサポーターさんとで植樹、水やり、草刈の作業で汗を流したこと等々。ささやかでしたが、事業に関わることができたことは、私の“誇り”です。

名古屋は確かに生活に便利ですが、一歩外に出ると人混みに溢れています。コロナ禍にあっては外出もままなりません。

寺島代表が「Tomorrow NO.33」で“外に出て自然の中に身を置き、歩き回ることがどんなに大事か”と書いておられます。本当にそう思います。身体的な衰えと、名古屋在住という事情もあって、ハナモモの作業に参加することは難しくなりましたが、体は名古屋、心は高蔵寺 NT、が今の私の心境です。

### ◆「ハナモモの会」会員募集◆

ハナモモの咲く桃源郷づくりをすることで、賑わい・共生・コミュニティーの形成を目指す市民団体です。

### ◆2021年度 花咲か基金募集◆

プロジェクトにご賛同頂いた方からのご寄付を活動の原資とさせていただくための基金です。ご協力お願いします。

個人 : 1 口 1,000 円から

団体 : 1 口 3,000 円から

### ◆サポーターさん募集◆

地域の皆様にも活動を楽しんでいただけるようにと作ったものです。会費不要。活動内容は★植栽活動 ★PR 活動 等

遅刻早退自由の気楽なスタイルです。休憩時に雑談をしながらのティータイムもあります。これが楽しいのです。

募集関連の問い合わせ先

090-9899-4499 (糟谷)